

【発見！お魚調査隊2010】

はじめに

お魚調査隊は、地元邑智小学校の児童の皆さんに、身近な川を遊び場や憩いの場として再発見してもらい、また、川の環境を知ってもらうことを目的として結成されました。平成13年から平成17年までは美郷町粕淵の早水川、平成19年以降は尻無川において魚類の生息調査を行っています。

今年も、尻無川で第9回目となる「お魚調査隊」を実施しました。今回は、邑智小学校4年生の児童20名により調査隊を結成し、8月31日（火）、9月1日（水）の2日間、前美郷町都賀行公民館長の振井さんの指導をうけながら、ペットボトルで作った「しかけ」を用いて尻無川における魚類の生息調査を行いました。また、川の自然体験としてCODパックテストによる水質調査やこれまでの調査報告を取りまとめた授業を行いました。以下に報告します。



8月31日(火) 1日目



まずは魚を捕獲するためのしかけ作りです。
前美郷町公民館長振井さんから、しかけの仕組みや作り方などの説明がありました。

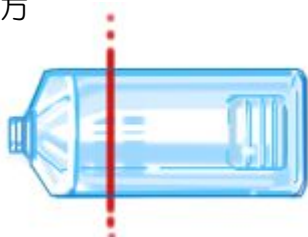
※水産課の許可を得て実習を行っています

使用材料

- ・ ペットボトル(2L、なるべく固いもの)
- ・ サインペン
- ・ はさみ
- ・ はんだごて

等々

作り方



- ① ペットボトルの先端から1/3の所をはさみで切ります。(予め線を引いておくと切りやすいです)



- ② 1で切り取った部分を逆さに取り付けます。しっかり固定されているか確認しましょう。



- ③ 底の部分に水抜き用の穴を5~6個開けます

完成!



はんだごてで穴を開ける作業は職員が手伝いました。

ペットボトルに好きな絵を描く子ども達。
カラフルなしかけが出来上がりました。



しかけを持って尻無川へ移動。
川に入る前にしかけに入れるエサを選んで
もらいます。

用意したエサ

- ・サナギ粉
- ・酒粕
- ・サナギ粉・酒粕ブレンド

どのエサに魚が多く集まるのでしょうか？

魚の習性を考えながら、上流や下流、浅いところや
深いところ、流れの速いところや遅いところ・・・
各自しかけを設置するポイントを探します。

目印の浮きを付け、しかけが流されないように石で
押さえて沈め、あとは一晩待つだけです。



9月1日(水) 2日目



!!!
たくさんの魚が入っていました。
酒粕を入れたしかけには、他より多くの魚が
集まっていました。

翌日尻無川に移動し、昨日設置しておいたしか
けを引き上げます。子ども達、緊張の一瞬です。



捕れた魚を水槽に移して観察しました。

- ・タナゴ 30匹
- ・スジエビ 20匹
- ・カワムツ 10匹
- ・オイカワ 5匹
- ・モロコ 5匹 等

計 80匹

目の前で泳ぐたくさんの魚に、子ども達は興味
津々です。



<河川授業>



今回の調査箇所である尻無川と、以前調査が行われていた早水川について知ってもらうため、授業を実施しました。

川に住む魚のこと、魚道のこと…
色々なことがわかりました。



<川の自然度体験>



COD パックテストを用いた水質検査です。
下記5つの検水について調べました。

- ・ 水道水
- ・ 尻無川の水
- ・ 洗剤入りの水
- ・ 醤油入りの水
- ・ 米の研ぎ汁

結果（水のきれいな順）



水質検査の結果、尻無川の水が1番きれいだということがわかりました。

子ども達は、意外な結果に驚いている様子でした。

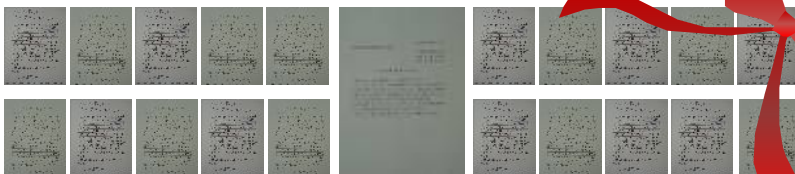
<終了式>



これにてお魚調査隊は終了です。
2日間頑張ってくれた児童の皆さんを、
お魚調査隊員として認定しました。

おわりに

子ども達から「魚がたくさん捕れて楽しかった。」「勉強になった。」との声が聞けて嬉しく思うとともに、我々もこの自然豊かな河川環境を後生に残していく責任を改めて感じました。今後も川のことを知ってもらう機会として、お魚調査隊の活動を続けていきたいと思ひます。ご協力いただきました皆さんありがとうございました。



追記

邑智小学校4年生児童 20名
と担任の折坂先生より
お礼の手紙を戴きました！